

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 19 年 11 月 29 日 (2007.11.29)

【公開番号】特開 2007-106688 (P2007-106688A)

【公開日】平成 19 年 4 月 26 日 (2007.4.26)

【年通号数】公開・登録公報 2007-016

【出願番号】特願 2005-297991 (P2005-297991)

【国際特許分類】

A 6 1 K 31/702 (2006.01)

A 6 1 K 31/728 (2006.01)

C 0 7 H 3/06 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

A 6 1 P 19/02 (2006.01)

A 6 1 P 1/16 (2006.01)

A 6 1 P 29/00 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

A 6 1 P 31/12 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 31/702

A 6 1 K 31/728

C 0 7 H 3/06

A 6 1 P 43/00 1 1 1

A 6 1 P 19/02

A 6 1 P 1/16

A 6 1 P 43/00 1 0 5

A 6 1 P 29/00

A 6 1 P 35/00

A 6 1 P 31/12

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 10 月 12 日 (2007.10.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

- D - グルクロン酸 - 1, 3 - D - N - アセチルグルコサミン - 1, 4 - を 1 単位とし、これを 1 個 ~ 10 個含む 2 糖 ~ 20 糖の低分子量ヒアルロナンを有効成分とするサイトカイン関連遺伝子の発現抑制剤。

【請求項 2】

上記低分子量ヒアルロナンのうち、1 単位を 2 個含む 4 糖であることを特徴とする請求項 1 記載のサイトカイン関連遺伝子の発現抑制剤。

【請求項 3】

上記サイトカイン関連遺伝子は、炎症性サイトカインに関連する遺伝子であることを特徴とする請求項 1 記載のサイトカイン関連遺伝子の発現抑制剤。

【請求項 4】

注射剤及び経口投与剤であることを特徴とする請求項 1 記載のサイトカイン関連遺伝子

の発現抑制剤。

【請求項 5】

- D - グルクロン酸 - 1, 3 - D - N - アセチルグルコサミン - 1, 4 - を 1 単位とし、これを 1 個 ~ 10 個含む 2 糖 ~ 20 糖の低分子量ヒアルロナンを有効成分とするケモカイン関連遺伝子の発現抑制剤。

【請求項 6】

上記低分子量ヒアルロナンのうち、1 単位を 2 個含む 4 糖であることを特徴とする請求項 5 記載のケモカイン関連遺伝子の発現抑制剤。

【請求項 7】

注射剤及び経口投与剤であることを特徴とする請求項 5 記載のケモカイン関連遺伝子の発現抑制剤。